

原作（定本版）と現行教科書のキーワード対照表

以下の表は別添の「星野君の二塁打」の原作（定本版）に下線を付したキーワードが2022年度現在学校現場で用いられている二つの教科書でどのように記載されているかを示したものです。

原作では（定本版だけでなく初出版でも）、キーワードとして、「規則」が1回、「約束」も1回、「統制」が4回用いられていますが、廣濟堂あかつきの本文では、「規則」が5回用いられていて、「約束」と「統制」は1回も用いられていません。もう一つの学校図書では、「約束」が5回用いられていて、「規則」と「統制」は1回も用いられていません。

原作（定本版）と現行教科書のキーワード対照表

	原作（定本版）	廣濟堂あかつき	学校図書
別府（監督就任時）	チームの規則	チームの規則（2回）	チームの約束
星野（ここまで聞いた時）	チームの統制を破った	—	チームの約束を破った
別府（回りくどい言い方はよそう）	ぼくとの約束を破り、チームの統制をみだした	規則を破り、チームのまとまりを乱した	ぼくとの約束を破り、チームの和を乱した
別府（たすけ船に対して）	統制を破った	規則を破った	約束を破った
別府（星野君はいい投手〔ピッチャー・選手〕だ）	チームの統制をみだした者	規則を破り、チームのまとまりを乱した者	チームの約束を破り、和を乱した者

出典：

山本有三編『日本文学選（新編・日本少国民文庫11）』新潮社、1956年、100－111頁

『みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6』廣濟堂あかつき、2020年、94－97頁

『かがやけ みらい 小学校道徳6年 きづき』学校図書、2020年、14－17頁

【なお、以下の道徳の教科化の際の最初の教科書にも「星野君の二塁打」が載っています。

『みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6』廣濟堂あかつき、2018年、94－97頁

『かがやけ みらい 小学校道徳6年 読みもの』学校図書、2018年、20－23頁

廣濟堂あかつきの本文は全く同じです。学校図書のほうは少し修正が加えられていて、例えば、表中の「和を乱した」の「和」が2018年版では「輪」でした。）

《付記》廣濟堂あかつきの教科書では「星野君の二塁打」は道徳の「内容項目」として「規則の尊重」と「より良い学校生活、集団生活の充実」を学ぶ教材として位置づけられており、学校図書では「より良い学校生活、集団生活の充実」の教材とされています。このことと関わって、星野君の行為は廣濟堂あかつきでは「規則違反」、学校図書では「約束破り」とされていると読むことができます。では、原作の「統制」とは何なのか、どのように理解すべきなのかは「星野君の二塁打」研究に残された課題ではないかと思われます。（功刀）